

## 「いしかわ舞台芸術祭2026」の開催について

県民の新たな文化体験機会を創出するため、令和6年より、県内では鑑賞機会の少ない、ミュージカル・演劇を中心とした舞台芸術の魅力を発信する「いしかわ舞台芸術祭」を開催しています。この度、3年目となる今年のプログラムを公式ホームページで公開しましたのでお知らせします。

### 記

#### 1 概要

会期：令和8年9月6日（日）～12月22日（火）

会場：県立音楽堂、北國新聞赤羽ホール、金沢市文化ホール、

團十郎芸術劇場うらら、能登演劇堂 ほか

公演数：16事業、約30公演（別紙のとおり）

公式ホームページ：[https://ishikawabutai.jp/\\_top](https://ishikawabutai.jp/_top)

#### 2 主な内容

##### (1) アンバサダーに佐久間<sup>さくまのぶゆき</sup>宣行氏が就任

舞台鑑賞のため地方にも足を運ぶほどの演劇通で知られるTVプロデューサーの佐久間宣行氏をアンバサダーに迎えます。9月6日のトークイベントにご登壇いただくほか、公式ガイドブック（9月頃発売予定）でのインタビュー記事で芸術祭PRにご協力いただきます。

##### (2) 岸田國士戯曲賞受賞で注目の「ダウ 90000」が今年も登場

昨年の芸術祭プログラムである演劇「ロマンス」により主宰・蓮見翔氏の「岸田國士戯曲賞」受賞でも話題を集める8人組ユニット「ダウ 90000」が、今年はコントライブでラインナップ。昨年同様、県内外から多くの来場が見込まれます。

##### (3) 朗読会シリーズ「葉<sup>ば</sup>葉<sup>ば</sup>葉<sup>ば</sup>」が本県初登場

朗読のみならず、身体表現、即興創作、演奏などを通じて、怒りや哀愁、笑いなど様々な表現で構成する朗読会シリーズ「葉葉葉」が本県初登場。戸塚祥太（A. B. C-Z）、詩人の黒川隆介、又吉直樹が作・演出を務める話題の作品です。

# いしかわ舞台芸術祭2026 プログラム一覧

	プログラム	会場・日程	内容
招致公演	【プレ公演】 ジャン・レノ ソロパフォーマンス「らくだ」	日程：6/20(土) 会場：北國新聞赤羽ホール	映画「レオン」主演のジャン・レノが自身の半生を語り、演じ、歌う、自叙伝的ひとり舞台
	佐久間宣行PRESENTS 五感爆発！-食もライブ！舞台もライブ！-	日程：9/6(日) 会場：團十郎芸術劇場うらら	演劇通の佐久間宣行が舞台芸術の魅力や楽しみ方をわかりやすく紹介
	言式「とるわよ！」	日程：9/13(日) 会場：金沢市文化ホール	昨年のアンバサダーである俳優・梅津瑞樹が脚本・演出を手掛ける舞台
	ダウ90000「40000」	日程：10/16(金)～18(日) 会場：金沢21世紀美術館	岸田國士戯曲賞を受賞した蓮見翔が率いる若者に大人気の8人組ユニット
	オペラ「イル・トロヴァトーレ」	日程：10/18(日) 会場：金沢歌劇座	イタリアの作曲家ヴェルディによる15世紀スペインを舞台にした愛憎劇
	劇団四季「コーラスライン」	日程：10/22(木)、23(金) 会場：本多の森北電ホール	ブロードウェイを目指すダンサーたちを描く、実話を基にした傑作を国内最高峰の劇団四季が上演
	公開ケイコ！	日程：10/24(土) 会場：県立音楽堂邦楽ホール	「台本の読み合わせ」「立ち稽古」など役者や演出家による作品づくりの過程を見せる企画
	無名塾「わが町」	日程：10/31(土)～11/3(火) 会場：能登演劇堂	アメリカを代表する劇作家ソーントン・ワイルダーの不朽の名作
	山里亮太の140	日程：12/13(日) 会場：松任文化会館	石川推しの山里亮太によるスタンドアップ・コメディ
	朗読会「葉葉葉」	日程：12/22(火) 会場：金沢市文化ホール	戸塚祥太(A.B.C-Z)×黒川隆介×又吉直樹による朗読やダンスパフォーマンス
育成公演	ブロードウェイ・ミュージカル・コンサート	日程：10/25(日) 会場：能登演劇堂	ブロードウェイ俳優・由水南によるコンサート 歌唱ワークショップ参加者と共演
普及公演	いしかわ人形劇フェスティバル	日程：11/14(土)、29(日) 会場：能美市辰口図書館、 かほく市立図書館	県内で活動する人形劇団による子ども向けの公演
	地元劇団協力公演(2事業)	日程：12/4(金)～20(日) 会場：金沢市民芸術村ドラマ工房	演劇鑑賞が初めての方も気軽に楽しめる公演

※ほか2事業の情報は、公式ホームページで後日公開

# アンバサダー佐久間宣行氏からのコメント

このたび「いしかわ舞台芸術祭2026」のアンバサダーを務めさせていただくことになりました、佐久間宣行です。

僕自身、石川にはプライベートでもよく来ていて、観光だけじゃなく、仕事の原稿を書きに来たこともあるくらい、個人的に馴染みのある場所です。だから今回お話をいただいた時も、すごく自然に「ぜひやりたい」と思いました。

舞台って、その瞬間、その場所でしか味わえないエンターテインメントなんですよ。映像とは違って、観客と演者が同じ空間で呼吸して、その日の空気で作品が変わる。人生にずっと残るような2時間に出会えることがあるのが、舞台芸術の魅力だと思っています。

そして「いしかわ舞台芸術祭」は、演劇ファンだけのものじゃなくて、“ちょっと気になる”くらいの人でも楽しめる入口がたくさんある芸術祭だと思います。キュレーターの視点で選ばれた作品が集まっているので、「何を観ればいいのかわからない」という人にこそ来てほしいです。

ライブエンタメと観光が一緒になることで、その街に行く理由が生まれる。美味しいものを食べて、街を楽しんで、夜は劇場へ行く。そういう体験って、すごく豊かなんですよ。石川にはそれができる魅力があると思っています。

今年のラインナップも本当に豪華で、東京でもなかなか観られない公演が揃っています。ぜひこの機会に劇場へ足を運んで、生の舞台の熱量を体感してもらえたら嬉しいです。

いしかわ舞台芸術祭2026 アンバサダー 佐久間宣行



## <プロフィール>

1975年生まれ、福島県いわき市出身。  
テレビ東京で「ゴッドタン」「あちこちオードリー」などを制作。  
2019年より「佐久間宣行のオールナイトニッポン0」を担当。  
2021年独立後はNetflix、YouTube、著作など幅広く活動し、芸人やタレントの“まだ見ぬ魅力”を引き出す名演出家として支持を集めている。  
YouTube 総登録者数は約370万人。